

第 6 9 回 全日本中学校通信陸上競技東京都大会 競技注意事項

1 競技規則について

本競技会は 2023 年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本競技会要項及び競技注意事項（本注意事項）により実施する。

2 競技者の事前準備

本競技会に参加する競技者は、以下の準備をしておくこと。

(1) 体温チェックについては、各家庭で検温し 37.5℃以上の場合は来場を控えること。

(2) 「当日の持参物」の準備

競技に必要な物の他、AD カード入れ首掛けホルダー、東京都中体連陸上競技専門部 HP に掲載されるスタートリストを見て、自分のアスリートビブス・腰ナンバー標識競技時間、競技順序、招集時間等を確認しておくこと。

3 競技場の入場及び競技者受付について

(1) 引率者（顧問またはクラブ代表者）は T I C（メインスタンド外側、100m スタート側ゲート前付近に設置）にて、競技者分及び引率者及び保護者の AD カードとプログラムを受け取ること。

(2) 競技場への入場に際し、競技役員の指示に従い行動すること。

(3) 競技場の開門時刻は、全日程とも 8 時 00 分とする。ただし、棒高跳の選手は 7 時 30 分より入場できる。

(4) 競技者・引率者の入退場は以下の通りとする。

入退場口は

① 100m スタート側ゲート

② メインスタンド。

③ 第 3 コーナー付近スタンド上部、公衆トイレ出入口 として。

必ず開催日が記された AD カードを掲示すること。指導者が競技者のウォーミングアップ時に芝生スタンドから指示することを認めるが、グラウンドレベルには下りないこと。

(5) 保護者の入退場は以下の通りとする。

入退場はメインスタンドのみとする。入場時に AD カードを掲示すること。

(6) プログラムに記載ミス（氏名、学年、所属等）があった場合には、競技開始の 1 時間 30 分前までに T I C へ申し出ること。なお、プログラムの記載事項は、申し込みの際に送信されたデータをそのまま使用している。

(7) 大会プログラムは残部がある場合に限り、T I C にて販売する。

(8) AD カードを発行された関係者は入場できるが、引率者は競技者が練習・競技を行うときのみ、スタンドの指定された場所で観戦することができる。

4 アスリートビブスについて

(1) アスリートビブス（横 24 cm × 縦 16 cm）は、各自で 2 枚作成し、胸と背に確実に固定すること。

(2) 跳躍競技については、アスリートビブスを胸または背部のどちらか一方につけるが、走幅跳の競技者は胸につけることが望ましい。（TR5.7）

(3)トラック競技に出場する競技者は、スタートリストを確認して腰ナンバー標識（1 枚）を各自で作成（縦 12 cm × 横 18 cm）し、右腰やや後方につけること。（リレー競技は、アンカーのみつける）字幅は 1.5 cm、高さ 10 cm を標準とする。

(4) 予選種目がある競技の準決勝、決勝、四種競技の最終種目の腰ナンバー標識については、本部より準備する。競技者係で招集時刻の前に受け取ること。

5 ウォームアップおよび練習について

- (1) 練習は競技場内で行うことができる。競技役員（マーシャル・練習場係など）の指示に従い、指定された場所・時間の範囲内で行うこと。ただし、競技運営上、練習を制限することがある。練習中は各々が事故防止に万全を期すこと。
- (2) 競技区域内での練習は、本競技会に参加する競技者に限定する。（競技区域内で練習する際は、競技者用A/Dカードを身に付けること）
- (3) 周回レースが行われていない時間帯については、バックストレートを開放する。（但し、長距離種目実施中にはついては、使用制限がある。）
- (4) ハードルの設置については、以下のとおりとする。

22日	共通男子四種 110mH	準備ができ次第～9:15	ホームストレート 7～8レーン
	共通女子四種 100mH		ホームストレート 3～6レーン
	共通女子 100mH	13:45～15:15	バックストレート 7・8レーン
23日	共通男子 110mH	準備ができ次第～9:15 12:35～13:15	バックストレート 6・7レーン

- (5) **走幅跳練習走路は設置しない。招集後の公式練習で競技開始5分前まで練習を行うことができる。**
- (6) **フィールド競技の練習は競技役員**の指示に従って、招集完了後に各々の競技場所で行う。
- (7) 練習に必要な用器具は主催者が準備する。個人で持ち込んだ用具を使用して練習場所を占有することを禁止する。

6 招集について

- (1) 招集所は、100mスタート地点後方に設置する。
- (2) 各競技の招集開始・招集完了・リレーオーダー用紙の提出締切時刻は、タイムテーブルに記載のとおりとする。なお、リレーオーダー用紙は、競技者係で準備しているものを使用し、競技者係に**2枚**提出すること。
- (3) 招集の方法
 - ① 招集開始時刻に招集所で点呼を受けること。その際、アスリートビブス・腰ナンバー標識・商標のチェック、スパイクピン及び靴底の厚さの測定を行う。
 - ② リレーは、ユニフォームチェックと靴底の厚さの測定を4人そろって招集時に競技者係で行う。）
 - ③ **混成競技も招集所で招集を受ける。ただし、最終種目は競技者係にて組・レーンを確認し、チェックを受けてから腰ナンバー標識をもらう。作成しなくてもよい。**
 - ④ **ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技エリアに持ち込むことはできない。**
 - ⑤ 招集完了時刻を過ぎた場合は、当該種目を棄権したものとして処理する。
 - ⑥ **トラック競技とフィールド競技の2種目エントリーしている場合には、競技者係に申し出ること。**
- (4) 欠場について
本競技会を欠場する際は、本人または引率者・顧問を通じて、競技開始時刻の60分前までに競技者係へ申し出ること。

7 競技及び競技方法について

- (1) **トラック競技**
 - ① **トラック競技の計時はすべて写真判定装置を使用する。**
 - ② **トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラムに示した上から下の順に行う。空いたレーンがあってもつめずに行う。準決勝・決勝のレーン順は主催者が公正に抽選で行う。**
 - ③ **100mの準決勝進出者は予選のタイム上位24名とし、同タイムの場合は写真を拡大し判定する。決勝への進出者は準決勝3組2着プラス上位記録2名とする。同タイムの場合は写真を拡大し判定する。（判定できない場合は抽選とする）**
 - ④ **1500m、3000mは全て、タイムレース決勝とする。**
 - ⑤ **200m・400m・800m・ハードルの決勝進出者は予選タイムの上位から8名とする。同タイムの場合は写真を拡大して判定する。（判定できない場合は抽選とする）**
 - ⑥ **予選種目のある競技で上位ラウンドに進出した場合の腰ナンバー標識は、本部が用意する。競技者係で組レーンを確認し腰ナンバー標識を受け取ること。**
 - ⑦ **リレーの決勝進出チームは予選タイムの上位から8チームとする。同タイムの場合は写真を拡大して判定する。（判定できない場合は抽選とする）**
 - ⑧ **不正スタートをした競技者は失格とする。**
- 【都中体連申合せ事項】
1. **不適切行為（速やかに構えない、「セット」で静止しない、ピクつく等）をした競技者へは出発係が口頭にて注意を与える。（グリーンカードを掲示する）**
同一の競技者が同一レースで不適切行為を繰り返した場合は、スタート審判長がイエローカードを提示し警告を与える。
・イエローカードはその競技会内での累積とする。

2. その競技会内で2度の警告が与えられた場合は、レッドカードを提示され競技会から除外される
3. リレー競技において除外処分を受けた場合、当該競技は失格となるが、個人種目への出場は妨げられない。
 - ・個人種目で除外処分（RC）を受けた選手はリレーには出場できない。
 - ・混成競技を除き、不正スタートをした競技者は失格とする。
 〈不正スタートとは、号砲前に「手が地面から離れる」「足がスタブロから離れる」ことだけでなく、「スタート動作を起こしていれば」不正スタートになる〉
 - ※1年生も同様の対応とする。
 - ※混成競技においては、1回目の不正スタートをした競技者に黄黒カードが提示された後、他の競技者全員にも黄黒カードが提示される。以降、不正スタートをした競技者には赤黒カードが提示され失格となる。
- ⑨ 短距離走・ハードル走・リレーにおいて、スターティングブロックの使用を義務づける。
- ⑩ 短距離走では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。他の競技者との接触を避けるため
- ⑪ 800mはセパレートレーンによるスタートとする。ブレイクラインを越えたらオープンレーンとなる。
- ⑫ 3000mはグループスタートとする。
- ⑬ トラック競技とフィールド競技に同時に出場する競技者は、トラック競技を優先するので、必ずフィールド競技の審判員に申し出て、トラック競技終了後ただちにフィールド競技に戻る。また、競技者係で2種目出場することを必ず申し出る。（ラウンド内に戻らないとパス扱いとする）
- ⑭ リレーメンバーは、申込一覧表に申し込んだ6名以内とする。（都中体連ルール）
- ⑮ リレーで使用するマーカーは各校（チーム名を記入）で用意し、レース終了後必ずはがすこと。
- ⑯ リレーに出場する4名は、統一された服装で競技に参加すること。
- ⑰ ハードル競技は、以下の規格で行う。

	高さ	インターバル	台数
共通男子 110mH 四種競技 110mH	0.914m	13.72m-9.14m・・・14.02m	10台
共通女子 100mH 四種競技 100mH	0.762m	13.00m-8.00m・・・15.00m	10台

(2) フィールド競技

- ① 跳躍種目の競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)にマーカーを2個まで置くことができる。
- ② 棒高跳・走高跳のバーの上げ方は、以下のとおりとする。（天候等により変更することもある）

種目	グループ	練習	競 技
棒高跳	共通男子	2m80or3m20 3m60or4m00	2m60 80 3m00 10 20 30 40 50 60 3m70 以後 10cm ずつ 4m00 以降は 5cm ずつ
	共通女子	2m20or2m50 2m80or3m00	2m10 30 40 50 60 70 2m80 90 3m00 以後 5cm ずつ
走高跳	共通男子	1m48or1m73	1m53 58 63 68 73 76 79 82 85 以後も 3cm ずつ
	共通女子	1m31or1m51	1m36 41 46 51 54 57 60 63 66 以後も 3cm ずつ
	共通男子 四種競技	1m34or1m60	1m37 40 43 46 49 52 55 58 61 64 以後も 3cm ずつ
	共通女子 四種競技	1m17or1m41	1m20 23 26 29 32 35 38 41 44 47 以後も 3cm ずつ

※1位決定のためのバーの上げ下げは走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。

※2組以上で行うグループの走高跳の高さを上げるタイミングは同時に行う（TR25.16）。

※2組以上で行うグループの走高跳では、片方のグループが3人以内となったら、1組の試技順から順番に試技を行う。

- ③ 1年男女走幅跳はトップ8の4回目の試技以降は、B・Cピット同時進行にて順位を決定する。
- ④ 共通男女走幅跳はB・Cピットの2カ所で予選を行い、予選通過記録（男子6m55、女子5m45）を設け、突破者もしくは、上位記録12名で男女ともAピットにて決勝を行う。
- ⑤ 投てき用具は、以下の規格を用いる。
 - 【男子】共通砲丸投 5.000kg 四種競技砲丸投 4.000kg
 - 【女子】共通砲丸投 2.721kg 四種競技砲丸投 2.721kg
- ⑥ 共通男女砲丸投は予選を行い、予選通過記録（男子13m00、女子12m50）を設け、突破者もしくは、上位記録12名で決勝を行う。
- ⑦ 共通円盤投は、トップ8の4回目の試技以降は、下位記録の選手から始める。

- ⑧ 走幅跳、砲丸投の決勝進出者で同記録の場合は、セカンド記録の上位者を決勝進出者とする。
- ⑨ 競技に使用する用器具は棒高跳用ポールを除き、すべて競技場備え付けのものを使用する。
- ⑩ 砲丸投の練習用のゴム製ボールを競技場内に持ち込まないこと。

(3) 混成競技

- ① 第1種目に出場しなかった場合、もしくは棄権した種目がある場合は、それ以降の参加はできない。(最終順位にも加えられない。また、記録は公認されない。)
- ② 3種目終了時点の順位により、4種目目の番組編成を行う。競技者係にて組・レーンを確認し、係のチェックを受けてから腰ナンバー標識を受け取る。(代理可)

(4) 抗議について

- ① 競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、**競技結果が速報のHP掲載発表されてから、各種目選択画面に表示される結果アップ時の時刻から30分以内**(同一日に次のラウンドがある場合は15分)に、引率顧問がTICに申し出ること。(当該校が認める部活動指導員は、証明する書類等を持参している部活動指導員に限る。)審判長が再度検証し、担当総務員を通じて裁定を伝える。
- ② 抗議後の決定に不服がある場合は、預託金10000円を添えてジュリー(上訴審判員)に上訴することができる。上訴が受理されなかった場合は、預託金は没収される。

(5) 助力

- ① 競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出なければならない。
- ② 競技中に競技場内のスタンド下ダッグアウトから助言(指導)を行うことは禁止するが、区画されたコーチングエリアからの助言は認められる(Bゾーン水壕付近)。メインスタンド2列目まで、芝生スタンドの区画された範囲をコーチングエリアとする。
- ③ フィールド種目に出場している競技者に対して競技区域外(スタンド)にいる引率者が録画した映像を見せることは助力にはならないが、競技区域外(スタンド)から見せることに限定され、録画した機材(スマートフォン・ビデオカメラ等)を競技区域内にいる引率者が手に持って見た場合は助力とみなす。
- ④ ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技区域内で所持または使用することは認めない(TR6.3.2)。

(6) その他

オープン参加の競技者(2桁ナンバー)は、通常の出場者と同じ扱いとする。

8 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて競技場備え付けのものを使用する。ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のものが使用できる。

9 競技用靴について

- (1) スパイクピンの長さは9mm以内とし、走高跳は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- (2) 靴底規定については以下のようにする。
靴底の厚さは800m未満の種目では20mm以内、800m以上の種目では25mm以内とする。フィールド種目の靴底の厚さは25mm以内だが、フィールド競技用シューズの靴底の厚さについては除外措置を適用する。

10 表彰について

各種目の優勝者には、バッジ、8位(リレー3位)までの入賞者には、賞状を授与する。
東京中体連独自の種目(1年1500m、1年800m、1年走幅跳、低学年リレー)、共通リレーの4位~8位入賞校については、中体連より賞状を授与する。

11 製造会社のロゴ、ブランド名、デザインマークのついた衣類やバッグ類等について

競技場に製造会社のロゴ、ブランド名、デザインマークのついた衣類やバッグ類等を持ち込む場合、「競技会における広告および展示物に関する規定」を遵守すること。競技役員から指摘・指導された場合は、その指示に従い、必ずテープを貼って隠すこと。

- 12 第51回関東中学校陸上競技大会への出場について
- (1) 本大会及び総合体育大会の入賞者を候補選手とし、**8月7日(月)・8日(火)**茨城県・水戸信用金庫スタジアムで行う。
 - (2) 『第51回関東中学校陸上競技大会』への出場選手は、アナウンスで強化選考室に呼ぶので、放送をよく聞くこと。
- 13 第50回全日本中学校陸上競技選手権大会の出場について
- 本大会において全国大会参加標準記録に到達した者は、8月22日(火)～25日(金)愛媛県・ニンジニアスタジアムで行う『第50回全日本中学校陸上競技選手権大会』に出場できる。
- 14 関東大会・全国大会出場決定者の説明会について
- 本大会競技終了後1時間後を目途に上柚木中学校体育館にて、説明会と書類配付を行う。必ず参加すること。また、2019年以前に行っていた、関東全国出場者発表は行わない。
- *申し込みについては、7月25日(火)午前10時30分より本郷中学校にて行う。
- 14 競技場使用上の注意
- (1) フィールド内の芝生は使用禁止となっているので、円盤投競技関係者以外、入らないこと。
 - (2) 更衣室は使用禁止とする。各自更衣を済ませてくること。
 - (3) 貴重品や衣類の管理は各自で行い、盗難防止に努めること。
 - (4) ビン・カン類の持ち込みは禁止とし、ごみ類は必ず持ち帰ること。(競技場周辺や駅、コンビニ等に捨てないこと)
 - (5) 競技場内の整備に努めること。トイレは清潔に使用すること。
 - (6) 本部前は通行禁止とする。また、セーフティーコーン設置場所には絶対に入らないこと。
 - (8) 競技場への往復の行動には十分注意すること。団地内には絶対に通らず、自動車の走る公道を通ってくること。
- 15 生徒の待機場所について
- メインスタンドでは、テントやタープなどを取り付けたり、固定したりすることができる。スタンド前方の手すり部分に取り付けなければ、テントやタープを立てることができる。
- 16 その他
- (1) 2023年度の日本陸上競技連盟競技規則修改正点について、特に注意すること。
 - (2) 7時より前に敷地内及び敷地付近に入らないようにすること。
 - (3) 競技中の事故については主催者で応急処置をするが、以後の責任は負わない。
 - (4) 引率の先生方には競技役員として協力をお願いします。
 - (5) 記録はその都度、アナウンスおよび記録結果携帯速報サイトに発表する。記録の貼り出しは行わない。
 - (6) 記録証は、1部300円で発行する。希望者は両日とも15時20分までにTICにて申し込むこと。
 - (7) TICには、学校に関する問い合わせや場所に関する問い合わせはしないようにすること。
 - (8) 届けられた遺失物については、大会当日のみTICで保管する。その後一時保管(P.13参照)するが、その他の盗難および紛失に関しては一切責任を負わない。**7月24日～7月23日**までとする。保管期間を過ぎたものは処分する。
 - (9) 競技場の開門時間・主任・顧問打合せについて(両日とも)
 ★開門時間 8時00分 ★主任打合せ 8時40分 ★顧問打合せ 8時55分
 - (10) 駅からの通行は、バス通りを使用し、団地内を通らないようにすること。
 - (11) 芝生スタンドなど(メインスタンド含め)、学校単位・チーム単位・家族・個人等の全てにおいて競技場内の場所取りは不可とする。
 - (12) 上柚木公園の多目的広場を臨時駐車場とする。保護者も利用できるが、駐車台数に限りもあるため、できる限り公共交通機関を利用する。競技終了後、できるだけ速やかに出庫させること。

第69回全日本中学校通信陸上競技東京都大会の記録結果携帯速報サイトをご利用ください。
 競技終了後に、次のサイトにアクセスすれば、ご覧になれます。
<http://gold.jaic.org/jaic/member/tokyo/cyuugaku/index.htm>
 QRコードもご利用ください。

競技会コード 23 21 12633001 競技場コード 132080

